

奥州市景気動向調査

実績：令和8年4月～令和8年6月期 見通し：令和8年7月～令和8年9月期

令和8年8月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

◇今期のポイント

「業況・売上DI値共に中東情勢の影響を受け悪化 先行き見通しは業種間でバラツキあり」

- 全産業合計の業況DIは▲29.0と、前回調査(▲16.8)から12.2ポイント悪化した。
- 全産業合計の売上DIは▲21.7と、前回調査(▲15.9)から5.8ポイント悪化した。
- 向こう3ヵ月(7月～9月)の先行きは、業況DIは今期実績よりも若干の改善、売上DIは今期実績よりも悪化する見通しとなった。
- 採算DI、仕入単価DI、資金繰りDIは前回よりも悪化を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が強まる結果となった。

【定例調査】 今回の調査において、全産業合計の業況DIは、前回調査から12.2ポイント下落して▲29.0となり、前回調査時の先行き見通し▲30.6通りの悪化を示す結果となった。売上DIについては、前回調査から5.8ポイント下落して▲21.7となり、前回調査時の先行き見通し▲27.8より改善しているものの、前回実績よりも悪化を示す結果となった。業種別でみると、小売業・建設業・サービス業で業況・売上DI共に悪化を示し、特に建設業の業況DIは大幅な悪化を示した。向こう3ヵ月の見通しについては、業況DIは今期実績よりも若干の改善、売上DIは今期実績よりも悪化を示している。業種別では製造業・建設業で業況・売上DI共に改善の見通しを示すが、卸売業・サービス業で業況DI見通しが悪化、小売業で売上DI見通しが悪化を示し、業種間でバラツキが表れる結果となった。

【臨時調査】 未だ終息の糸口が見えない中東情勢だが、調査結果にも経営への影響が色濃く反映されている。業種全体で「大いに影響がある」と「多少は影響がある」と回答した事業所は合わせて85.1%にも達した。「大いに影響がある」「多少は影響がある」と回答した事業所に、具体的にどのような影響が生じているかを複数回答で尋ねたところ、業種全体で「原材料・資材等の調達コスト上昇」「原材料・資材等の納期の長期化」「エネルギー価格の高騰によるコストの上昇」が上位を占めた。同様にどのような対応策を講じているかを複数回答で尋ねたところ、業種全体で「販売価格の転嫁」が最も多くなった。

【自由意見】 「仕入れコストの上昇」「接着剤・オイル・トルエンの入手困難」「ナフサの影響で材料入手が困難」「石油関連製品商社に在庫が無い状態」など中東情勢に対する不安の声が前回に続き多く挙げられた。

〔 調 査 要 領 〕

- 調査期間：令和8年7月1日～24日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和8年4月～令和8年6月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

《調査票回収企業数》

回答数233 回収率77.6% (小売46 ・卸売29 ・製造50 ・建設46 ・サービス62)

※景況判断指数(DI値)について

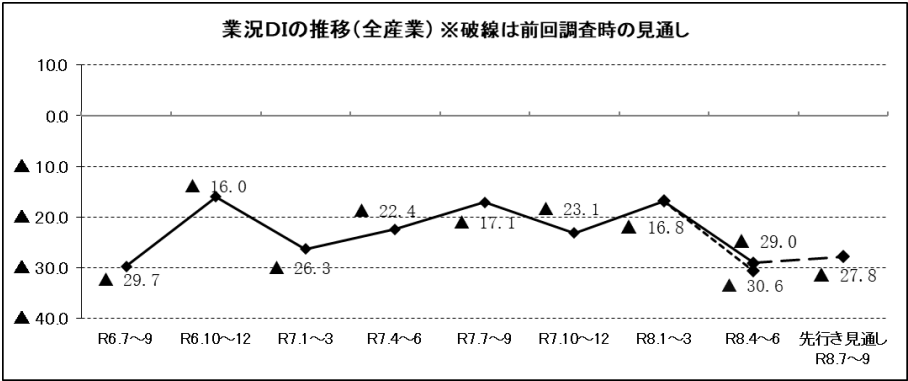
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

【業況DIの推移】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲29.0と、前回調査(▲16.8)から12.2ポイント悪化した。業種別では製造業が▲18.0(前回調査▲20.0)と2.0ポイントの改善を示している。一方で、小売業が▲24.4(前回調査▲7.1)と17.3ポイントの悪化、卸売業が▲37.9(前回調査▲18.5)と19.4ポイントの悪化、建設業が▲52.2(前回調査▲29.4)と22.8ポイントの悪化、サービス業が▲19.7(前回調査▲9.7)と10.0ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月（7月～9月）の業況DIの先行き見通しについては▲27.8と、前回の調査見通し(▲30.6)及び今期実績よりも改善する見通しとなった。業種別では小売業、製造業、建設業で数値が改善の見通し、卸売業、サービス業で悪化の見通しを示している。



業況DI業種別

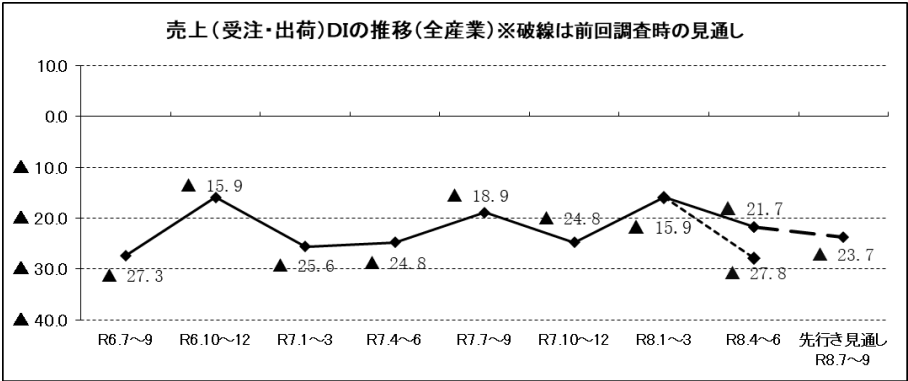
実績	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
今回	▲ 24.4	▲ 37.9	▲ 18.0	▲ 52.2	▲ 19.7
前回	▲ 7.1	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 9.7
見通し	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
今回	▲ 33.3	▲ 48.3	▲ 14.6	▲ 30.4	▲ 22.0
前回	▲ 37.2	▲ 29.6	▲ 29.2	▲ 37.3	▲ 21.7

※前回調査との対比を表す「矢印」について

30.0以上
▲
20.0~29.9
▲
1.0~19.9
▲
0.9~▲0.9
▲
▲1.0~▲19.9
▲
▲20.0~▲29.9
▲
▲30.0以下
▲

【売上DIの推移】

今回調査の全産業合計の売上DIは▲21.7と、前回調査(▲15.9)から5.8ポイント悪化した。業種別では卸売業が▲20.7(前回調査▲33.3)と12.6ポイントの改善を示している。一方で、小売業が▲22.2(前回調査▲7.0)と15.2ポイントの悪化、製造業が▲16.3(前回調査▲14.0)と2.3ポイントの悪化、建設業が▲41.3(前回調査▲31.4)と9.9ポイントの悪化、サービス業が▲11.5(前回調査▲3.2)と8.3ポイントの悪化を示している。向こう3ヵ月（7月～9月）の売上DIの先行き見通しについては▲23.7と、前回の調査見通し(▲27.8)よりも改善する見通しとなったが、今期実績よりも悪化する見通しとなった。業種別では卸売業・製造業・建設業・サービス業で数値が改善の見通し、小売業で数値が悪化の見通しを示している。



売上DI業種別

実績	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
今回	▲ 22.2	▲ 20.7	▲ 16.3	▲ 41.3	▲ 11.5
前回	▲ 7.0	▲ 33.3	▲ 14.0	▲ 31.4	▲ 3.2
見通し	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
今回	▲ 35.6	▲ 13.8	▲ 18.4	▲ 32.6	▲ 16.9
前回	▲ 30.2	▲ 29.6	▲ 22.9	▲ 35.3	▲ 23.0

【採算・資金繰り・仕入単価・従業員D I】

採算DI						
実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 35.2	▲ 40.0	▲ 34.5	▲ 26.0	▲ 52.2	▲ 26.7
前回	▲ 28.8	▲ 11.6	▲ 29.6	▲ 28.0	▲ 35.3	▲ 35.5
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 30.7	▲ 35.6	▲ 48.3	▲ 16.3	▲ 41.3	▲ 22.0
前回	▲ 38.0	▲ 39.5	▲ 37.0	▲ 38.3	▲ 43.1	▲ 32.8

資金繰りDI						
実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 21.3	▲ 22.2	▲ 20.7	▲ 18.0	▲ 28.3	▲ 18.3
前回	▲ 16.8	▲ 11.6	▲ 11.1	▲ 10.0	▲ 23.5	▲ 23.0
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 21.5	▲ 28.9	▲ 24.1	▲ 8.2	▲ 26.1	▲ 22.0
前回	▲ 21.9	▲ 21.4	▲ 18.5	▲ 27.1	▲ 25.5	▲ 16.7

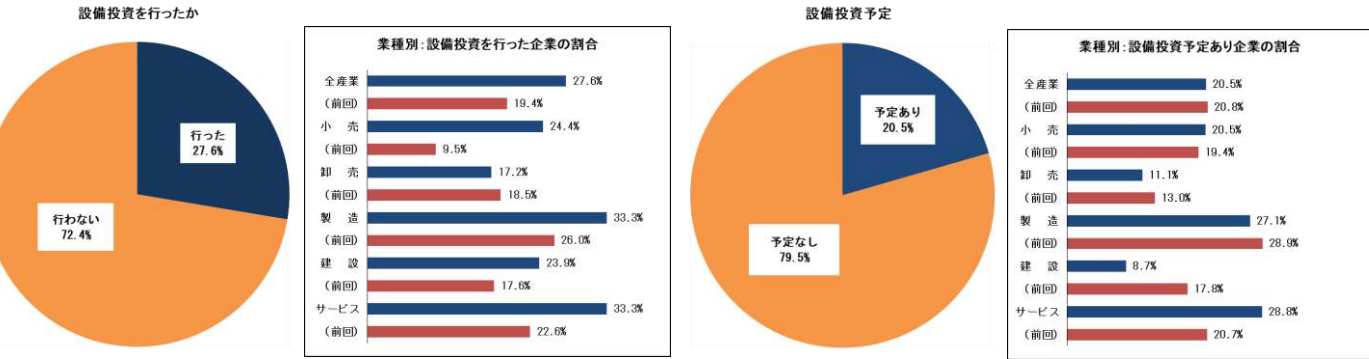
仕入単価DI						
実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 84.6	▲ 72.7	▲ 92.9	▲ 86.0	▲ 86.7	▲ 86.9
前回	▲ 79.7	▲ 79.1	▲ 85.2	▲ 74.0	▲ 84.3	▲ 78.7
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 78.0	▲ 62.8	▲ 88.9	▲ 79.6	▲ 82.2	▲ 79.7
前回	▲ 81.6	▲ 74.4	▲ 85.2	▲ 87.5	▲ 88.0	▲ 75.0

従業員DI						
実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	34.2	29.5	17.9	36.7	33.3	44.1
前回	33.2	28.6	22.2	30.0	39.2	38.7
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	36.2	31.8	25.9	37.5	36.4	43.1
前回	32.5	31.0	25.9	27.1	36.0	37.7

【経営環境】

天候の影響(%)	好影響	影響なし	悪影響	人件費率(%)	上昇	変化なし	低下	業種間競争(%)	緩和	変化なし	激化
全産業	3.5%	79.6%	16.9%	全産業	58.0%	38.0%	4.0%	全産業	1.8%	68.0%	30.2%
(前回)	5.2%	78.8%	16.0%	(前回)	51.8%	44.3%	3.9%	(前回)	0.9%	69.2%	29.9%
小売業	0.0%	82.2%	17.8%	小売業	43.2%	52.3%	4.5%	小売業	0.0%	66.7%	33.3%
(前回)	7.1%	76.2%	16.7%	(前回)	41.5%	53.6%	4.9%	(前回)	2.5%	70.0%	27.5%
卸売業	6.9%	72.4%	20.7%	卸売業	60.7%	35.7%	3.6%	卸売業	3.4%	55.2%	41.4%
(前回)	11.1%	70.4%	18.5%	(前回)	44.4%	55.6%	0.0%	(前回)	0.0%	58.3%	41.7%
製造業	0.0%	90.0%	10.0%	製造業	61.7%	31.9%	6.4%	製造業	6.0%	74.0%	20.0%
(前回)	4.0%	88.0%	8.0%	(前回)	56.0%	44.0%	0.0%	(前回)	2.0%	85.7%	12.3%
建設業	6.7%	68.9%	24.4%	建設業	60.9%	34.8%	4.3%	建設業	0.0%	62.8%	37.2%
(前回)	3.9%	72.6%	23.5%	(前回)	56.0%	36.0%	8.0%	(前回)	0.0%	46.9%	53.1%
サービス業	4.9%	80.3%	14.8%	サービス業	62.3%	36.1%	1.6%	サービス業	0.0%	73.8%	26.2%
(前回)	3.3%	82.0%	14.7%	(前回)	55.0%	40.0%	5.0%	(前回)	0.0%	78.0%	22.0%

天候の影響は、全産業で好影響が3.5%、影響なしが79.6%、悪影響が16.9%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が58.0%、変化なしが38.0%、低下が4.0%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が1.8%、変化なしが68.0%、激化が30.2%という回答となった。



設備投資は全産業で27.6%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(19.4%)よりも増加した。今後、設備投資の予定があると答えた事業所は20.5%となり前回調査(20.8%)よりも減少した。

全産業合計の採算D Iは▲35.2と、前回調査(▲28.8)から6.4ポイント悪化した。業種別では製造業・サービス業で数値が改善、小売業・卸売業・建設業で数値が悪化を示している。

※D I 値＝(好転)－(悪化)

全産業合計の資金繰りD Iは▲21.3と、前回調査(▲16.8)から4.5ポイント悪化した。業種別ではサービス業で数値が改善、小売業・卸売業・製造業・建設業で数値が悪化を示している。

※D I 値＝(好転)－(悪化)

全産業合計の仕入単価D Iは▲84.6と、前回(▲79.7)から4.9ポイント悪化した。業種別では小売業で数値が改善、卸売業・製造業・建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

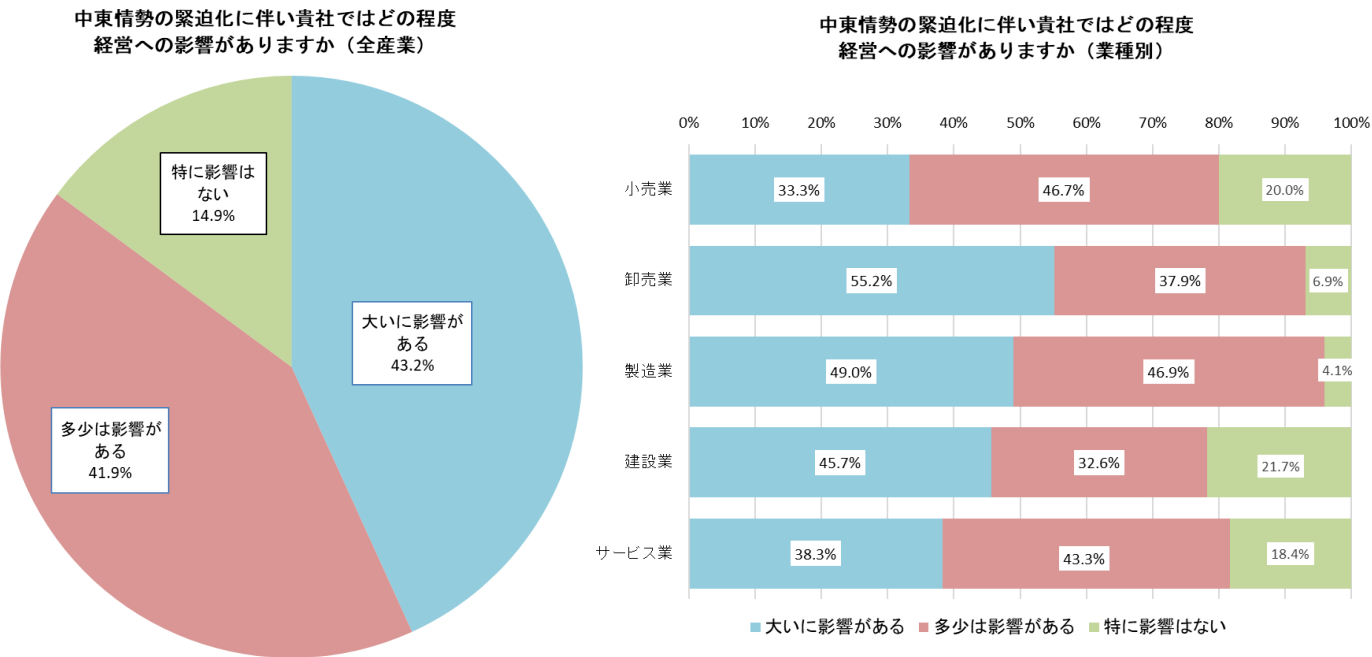
※D I 値＝(下落)－(上昇)

全産業合計の従業員D Iは34.2と、前回(33.2)から1.0ポイント人手不足感が強まる結果となった。業種別では小売業・製造業・サービス業で人手不足感が強まり、卸売業・建設業で人手不足感が緩和する結果となった。

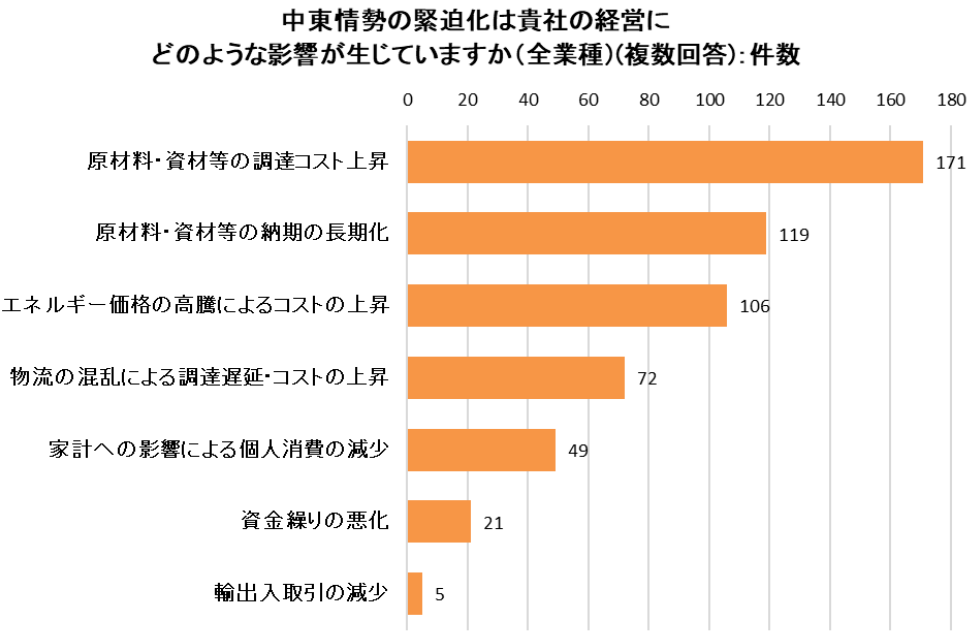
※D I 値＝(不足)－(過剰)

【臨時調査】中東情勢の緊迫化による経営への影響について

中東情勢の緊迫化に伴いどの程度経営への影響があるかどうかを尋ねたところ、業種全体では「大いに影響がある」が43.2%、「多少は影響がある」が41.9%となり、合わせて85.1%が経営への影響があると回答した。業種別では卸売業と製造業において、経営への影響があると回答した割合がいずれも90%を超える高い水準となった。

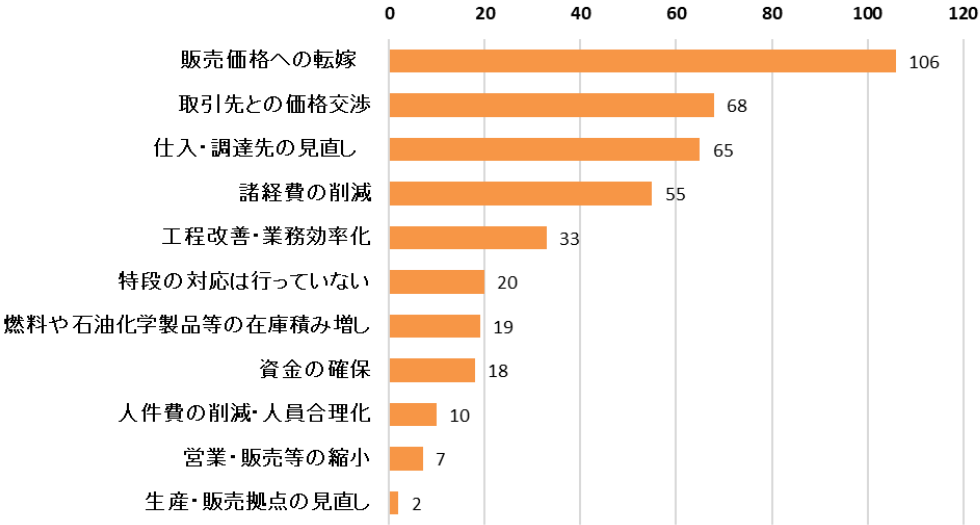


前記「中東情勢の緊迫化に伴いどの程度経営への影響があるかどうか」の質問で「大いに影響がある」「多少は影響がある」と回答した事業所に、貴社で経営にどのような影響が生じているかを複数回答で尋ねたところ、業種全体では「原材料・資材等の調達コスト上昇」が171件と最も多く、次いで「原材料・資材等の納期の長期化」が119件、「エネルギー価格の高騰によるコストの上昇」が106件と上位を占めた。以降は「物流の混乱による調達遅延・コストの上昇」が72件、「家計への影響による個人消費の減少」が49件と続いている。



前記「中東情勢の緊迫化に伴いどの程度経営への影響があるかどうか」の質問で「大いに影響がある」「多少は影響がある」と回答した事業所に、どのような対応を行っているかを複数回答で尋ねたところ、業種全体では「販売価格への転嫁」が106件、「取引先との価格交渉」が68件、「仕入・調達先の見直し」が65件と上位を占めた。次いで「諸経費の削減」が55件、「工程改善・業務効率化」が33件となった。一方で「特段の対応は行っていない」という回答が20件あった。

中東情勢の緊迫化で貴社ではどのような対応を行っていますか※今後の予定も含む(全業種:複数回答):件数



【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・売上は増加したが利益率が減少、今後はコメの価格下降により更に減少する可能性が大きい。
- ・仕入れ価格の上昇と修理資材の手配が困難になっている。
- ・工芸品の生産縮小により仕入が困難になっている。

(卸売業)

- ・中東情勢の影響を強く受けて、仕入れコストの上昇や物流が悪く納期も未定という状況が続いている。
- ・来年からの消費税減税や中東情勢の悪化、温暖化等企業を取り巻く環境が相当厳しさを増し、先行きが不透明である。
- ・人員不足による顧客の生産能力低下により、販売数量が頭打ちになっている。

(製造業)

- ・請負製造から自社製品の製造販売形態への移行と取り組みを実施している。
- ・中東情勢の影響で接着剤、オイル、トルエンなどの入手が困難になっている。
- ・原材料及び資材の高騰が続き、当分この状況が続くものと思われるので、近々取引先に対する価格交渉を考えている。
- ・4-6月は前年同期よりも受注が伸びて採算ラインに乗ったが、今後の見通しは予断を許さない状況にある。

(建設業)

- ・物価高や一部の資材調達が困難になって、受注に影響している。民間の設備投資は難しいので公共事業を増やしてほしいと思う。
- ・中東情勢、ナフサの影響で材料入手が困難になっており、回復までに数ヶ月はかかると見ている。
- ・石油関連製品商社にも在庫が無い状態で、住宅設備機器の品薄や値上げで先行きが厳しい。

(サービス業)

- ・A I 向け製品の増加によりメモリが足りない状態が続き、価格の高騰で在庫不足が常態化している。
- ・価格転嫁できる先を模索している。
- ・全ての仕入れが徐々に値上がりし、かといって価格を上げるわけにもいかず、利益が減少している。

◇奥州市景気動向調査票《実績4～6月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに✓をつけ「7月10日（金）」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名

(1) 業 種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

☐ A 小売業☐ B 卸売業☐ C 製造業☐ D 建設業☐ E サービス業

(1) 業況判断～従業員数：4～6月の実績と向こう3カ月の見通しで当てはまると思うものに✓を付けて下さい

	4～6月実績（前年同月比）			向こう3カ月見通し（今月比）		
業況判断	☐ 好転	☐ 変わらず	☐ 悪化	☐ 好転	☐ 変わらず	☐ 悪化
売上高	☐ 増加	☐ 変わらず	☐ 減少	☐ 増加	☐ 変わらず	☐ 減少
採 算	☐ 好転	☐ 変わらず	☐ 悪化	☐ 好転	☐ 変わらず	☐ 悪化
資金繰り	☐ 好転	☐ 変わらず	☐ 悪化	☐ 好転	☐ 変わらず	☐ 悪化
仕入単価	☐ 下降	☐ 変わらず	☐ 上昇	☐ 下降	☐ 変わらず	☐ 上昇
従業員数	☐ 不足	☐ 適正	☐ 過剰	☐ 不足	☐ 適正	☐ 過剰

(2) 経営環境：4月～6月の経営状況について当てはまると思うものに✓を付けて下さい

天候の影響	☐ 好影響 ☐ 影響なし ☐ 悪影響	人件費率	☐ 上昇 ☐ 変化なし ☐ 低下
業種間競争	☐ 緩和 ☐ 変化なし ☐ 激化		
設備投資	☐ 行った ☐ 行わない	設備投資予定 (今後3ヵ月以内)	☐ 予定あり ☐ 予定無し

◎臨時調査〔中東情勢の緊迫化による経営への影響について〕

(3-1) 中東情勢の緊迫化に伴い貴社ではどの程度経営への影響がありますか、当てはまると思うものに✓を付けて下さい

☐大いに影響がある☐多少は影響がある☐特に影響はない

終了です

(3-2) (「大いに影響がある」「多少は影響がある」と回答した方) 中東情勢の緊迫化は、貴社の経営にどのような影響が生じていますか、当てはまると思うものに✓を付けて下さい（複数選択）

☐原材料・資材等の調達コスト上昇☐原材料・資材等の納期の長期化☐エネルギー価格の高騰によるコストの上昇☐物流の混乱による調達遅延・コストの上昇☐家計への影響による個人消費の減少☐資金繰りの悪化☐輸出入取引の減少☐その他（

）

(3-3) (「大いに影響がある」「多少は影響がある」と回答した方) 中東情勢の緊迫化で、貴社ではどのような対応を行っていますか、当てはまると思うものに✓を付けて下さい(今後の予定も含む)（複数選択）

☐仕入・調達先の見直し☐営業・販売等の縮小☐取引先との価格交渉☐販売価格への転嫁☐諸経費の削減☐生産・販売拠点の見直し☐資金の確保☐人件費の削減・人員合理化☐工程改善・業務効率化☐燃料や石油化学製品等の在庫積み増し☐特段の対応は行っていない☐その他（

）

◎その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。